

科目名	栄養学 I (食生活と栄養)					DP4 DP5	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 栄養	時間数	23時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	人体を構成している物質は、新しく産生された物質と置き換わり、常に人体を活性化（新陳代謝）するように働いている。そして食物を摂取することで得られた栄養素を基に人体に必要な物質を産生し、さらに活動するために必要なエネルギーを産生している。このような生体内の代謝はそれぞれの臓器、組織が相互に補償しあって円滑に機能している。その為、人の生体内における正常な機能（物質代謝）を知り、健康を維持するために必要な栄養の基礎的知識を学ぶ。						
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体に必要な栄養素と代謝を理解することができる。 2. 食物の摂取、消化、吸収について、栄養素との関連について理解することができる。 3. エネルギー代謝過程を知ることができる。 						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～11	食生活・栄養と看護	栄養と食生活、栄養学とは、人間栄養学の必要性 日本人の食生活の変遷と今日の栄養状態、看護と栄養・食生活				講義	外部講師
	栄養素の種類とはたらき	タンパク質、脂質、糖質、食物繊維、ビタミン、ミネラル、水					
	栄養素の消化・吸収・代謝	消化器系の機能、食物摂取と消化・吸収・代謝					
	エネルギーの摂取と消費	食品のエネルギー、体内のエネルギー、エネルギー消費					
12	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学2 栄養 薬理 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							